

自律した学習者になる

仁科台中学校 学校だより 最終号 令和4年 3月16日(水) 発行

文責：永田 治(教頭)

3学期終業式 校長先生のお話

今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大に悩まされました。感染対策を講じながら、可能な限り通常の活動を行うように努めてきましたが、それでも多くの活動が制限されてきました。特に、授業において、対話を制限されたことは、やむをえないこととはいえ、残念なことでした。

3学期の始業式の日のように全校のみなさんに話しました。3学期は、48日間です。この短い学期は、みなさんが次のステップに進むための準備期間です。1年生は2年生・「先輩」に、2年生は3年生・「最上級生」に、そして3年生は卒業・「新しい生活」に進む準備の時間です。それは、自分の責任において進めないといけません。

成功のためにはいい準備が必要です。仲間と一緒にいい準備を進めましょう。

ふり返ってみていかがだったでしょうか。今、3人の代表のみなさんの発表を聞いていると、それぞれに充実した3学期だったと思います。そして、次のステップに進む準備もできていると感じました。

明日は、3年生の卒業式です。残念ながら、コロナ対策のため、1, 2年生の参加ができません。ご理解をいただきたいと思います。なので、今日は、全校生徒がそろそろ最後の日になります。

今年の3年生を送る会は、ビデオメッセージで、3年生に気持ちを伝える物でした。ボールの受け渡しから各クラスのメッセージを伝えていただきました。「雲外蒼天」(うんがいそうてん)。「雲を突き抜けたその先には、青空が広がっている」(努力して苦しみを乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている)それぞれ、1学年2学年ともに大変心のこもったメッセージでした。

3年生のみなさん、これまでありがとうございました。明日は、みなさんの誇りを胸に、堂々とこの仁科台中学校を卒業して行ってください。色々な場面で、これまでと違い、残念な思いをすることの多かった3年生のみなさんですが、「自分たちで考える」生徒会を築いてくださいました。その立派な姿をたたえたいと思います。

3年生のみなさんの思いを受け継ぎ、1, 2年生のみなさんは、令和4年度の仁科台中学校を築いてほしいと思います。令和5年度に、新中学校開校を控え、来年度は歴史ある仁科台中学校を閉じる年になります。新しい生徒会役員のみなさんが言うように、「有終の美」を飾り、「つなぐ」年になります。

今はまさに、答えのない先の見えない時代といわれています。この時代に、全校のみなさんが、自分に必要な学習を自覚し、進んで取り組む力・筋道立てて考え、気づいたことを適切に伝える力・自分のよさを生かして、人の役に立とうとする力を身につけてほしいと思います。

終わります。

お世話になりました ～年度末転退職員～

それぞれ本校での勤務は長短がありましたが、保護者の皆様には大変お世話になりました。今後も新しい場所で精一杯努力してまいります。ありがとうございました。

職員氏名	異動勤務先など	職員氏名	異動勤務先など
小須賀靖晶	上田市立第一中学校	上條 貴久	大町市立八坂中学校
金原 瑞枝	大町市立大町西小学校	倉澤 洋子	退職
栗林 正幸	退職	小島 一生	長野市立北部中学校
坂井 一夫	木曾町立木曾町中学校	高橋 克好	退職
永田 治	大町市立八坂中学校	平林 伸一	松川村立松川中学校
矢口 高士	松川村立松川中学校	山本 愛莉	長野市立南部小学校
横川 泰恵	大町市立大町北小学校	横林 利章	長野県松本養護学校
長山 郁恵	ご退職		